

令和7年4月25日

金属製バットの日常点検と取り扱い

昨年から新基準の金属製バットへ完全移行し、今年が2シーズン目になります。

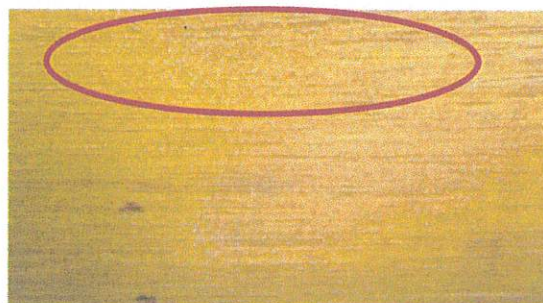
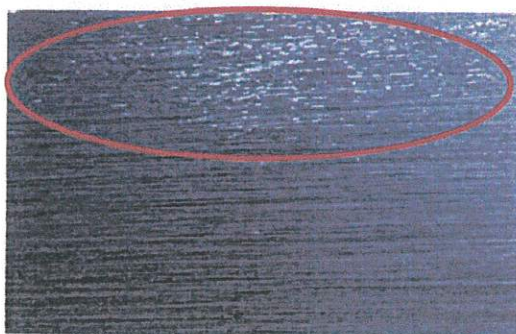
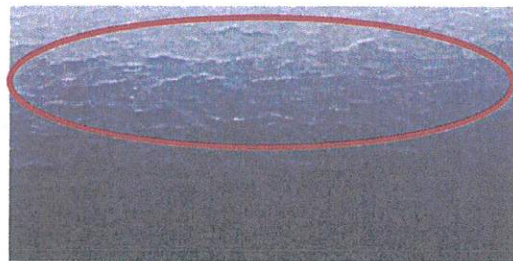
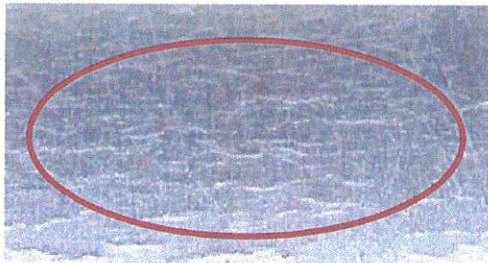
昨シーズンを通じて、加盟校ならびに大会運営にあたる大会役員、審判委員の方々からへコミやひび割れが入った金属製バットへの点検項目や評価方法に関する問い合わせが届きました。加盟校が取り組む日常点検や試合前の点検の目的は「部員達が安全にプレイを行うため」のものです。

下記の通り、写真を添付して点検項目、評価方法について記しますので参考にしてください。

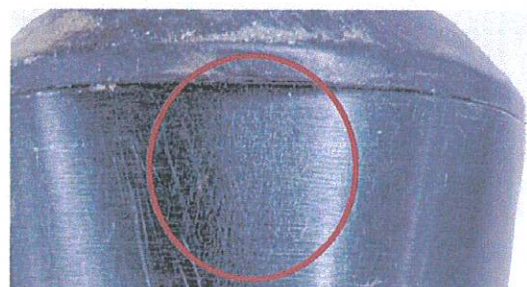
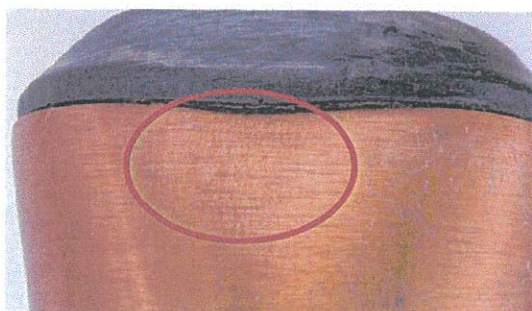
下に示す画像のような「シワ」がバット表面に見られる場合がありますが、この「シワ」はヒビ割れが発生する兆候になります。点検時には留意してください。

「シワ」の拡がりやヒビ割れが発生した場合は使用を控えてください。

<打球部>



<先端部>



また、下の画像のように変形度合いが大きい場合、即座に使用を控える必要はありませんがそのまま使用を続けると間もなくヒビ割れが生じたり、キャップが外れ、飛んでいったりする可能性があります。

そのためこのような状態になった場合は点検の回数を増やし、ヒビ割れが生じていないか、キャップが緩んでいないかなど注意深く確認してください。

<先端部>



以上